

会 議 要 旨

会 議 名	令和8年度 第1回館山市社会教育委員会会議
開 催 日	令和8年7月14日（火） 午後1時30分から
開催場所	館山市コミュニティセンター 第1集会室
出 席 者	社会教育委員11名，事務局7名
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍 聴 者	0 名

【会議概要・結果等】

1. 開会

2. 教育長挨拶（スポーツ課長代読）

3. 委嘱状交付（任期替えによるもの）

4. 委員・事務局自己紹介

5. 議長・副議長選出

金房努委員が議長に，加瀬俊浩委員が副議長に選出される。

6. 議長挨拶

7. 議事

（1）令和8年度各課基本方針と重点施策について

生涯学習課，博物館，図書館，スポーツ課より説明。

その後，質疑，意見交換。

（2）その他

創志学園グループとの教育連携について教育総務課より説明。

その後，質疑，意見交換。

8. その他

9. 閉会

【質疑応答・意見等】

（委員）中学校の社会（歴史）の授業で戦争について学ぶ際，房南中学校区には砲術学校跡を始めとして戦争遺跡が多く残っており，発展学習に利用している。現在休壕中の赤山地下壕跡については是非学びたい。館山中学校も第一中学校も発展的な学習に活用できると思うので赤山地下壕跡の見学が少しでも早く再開されるとよいが見通しはどうか。

（博物館）地下壕跡内の崩落は今回が2回目。原因をしっかりと究明して，事故だけは決して起こしてはならない。施設管理は都市計画課になるが，令和8年度はしっかりと調査する。再開時期は現時点で明言できない。

（委員）図書館のパートで，「にぎわいのある」「民間事業者と連携」「民間のノウハウを活用してサービスを拡充する」との説明があったが，具体的に説明してほしい。

（図書館）現在図書館の移転を検討している。移転先としてイオンタウン館山を候補に考えている。仮に移転したとしたら専門店街のうち，社会教育に関連のある店舗と連携することなどを想定している。

(委員) 地区公民館の再編について、令和7年度までに各地区町内会や公民館利用者との意見交換を実施してきたとのことだが、令和8年度はどういうところを目指して事業を進めていくのか聞きたい。

(生涯学習課) 令和6・7年度は市全体として地区公民館をどうするかを検討した。令和8年度は各地区公民館のサークルや利用者が、主に利用する地区公民館が廃止・移転等した場合に、どうやって活動を継続していくのか、どう利用したいのか等に着眼して、より具体的な協議をしていきたい。閉校となる学校を移転候補とするケース、現公民館の耐用年数が残っている施設、閉校となるのが数年先のケース。それぞれの地区・施設の状況に応じて検討を進めていく。例えば九重小学校は令和9年3月をもって閉校となるが、空いた施設を公民館だけで利用するわけではなく、市役所庁内においても他の利用方法がないか協議が必要となる。豊津ホールは令和8年度から協議スタート可能ではあるが、市の個別施設計画の中で、各施設の建物健全度を調査中であり、施設整備が必要な箇所が今後出てくるため、そのようなデータが出てきてからサークルの意向調査を進めていきたい。

(委員) 放課後子供教室が現在9教室あり、学校統合の関係で令和9年度は課題について検討中との説明があった。令和9年度は教室数はいくつになるのか。また、スタッフはどう募集するのか。

(生涯学習課) 北条小学校校舎に館野と九重の子どもが通学する予定だが、放課後子供教室が終わった後に帰りのバスを出せるのか等、現時点では白紙の状態。

(委員) 令和9年度は放課後子供教室の一部が実施できないケースも考えられるか。

(生涯学習課) 可能な限り、参加したい子どもが参加できるように考えていきたい。バスやスタッフ、予算等を確保していきたい。

(委員) 私は放課後子供教室の運営に関わっている。船形と那古は今年の4月に統合したが、スタッフは一緒になって参加してくれている。来年4月に学校が統合する地区においてもある程度のスタッフが残ってもらえるものと考えている。社会教育委員の皆様にはスタッフ募集にご協力いただきたい。

(委員) 放課後子供教室にしても地区公民館再編にしても、課題に早めに向き合えば令和9年4月にスタートできると思う。スクールバスやスタッフや教室となる施設について早めに方向性を決めて、話を進めていった方がよい。館山地区公民館と豊津ホールにしても、方針を早く決めて、生活している人の利便性が良い所で活動ができるようお願いしたい。今後地域の懇談会等で意見交換できると良い。

(生涯学習課) ただ今の意見を肝に銘じて進めていきたい。

(委員) 1点目として、ふるさと学習のための学習材の整備について要望したい。総合学習を進めるために、過去に市教育委員会が発行した南総たてやま発見伝、まちのようす・くらし編と、歴史・自然・未来編の内容をWEB上に掲載することを検討してもらえないだろうか。お茶の水女子大との連携状況、また赤山地下壕跡の中をバーチャルで閲覧できるようにするとか、生徒がタブレットで見られると良い。市の魅力やポテンシャルをWEB上に集約できると良い。

2点目は、児童生徒の芸術鑑賞のための補助金制度があるが、館山小学校には音楽部があり、苦渋の決断ではあるが、令和8年度いっぱいをもって、部活動を終わりにする。部活動の地域展開の考え方の中で、スポーツや芸術分野で小学校から中学校までを貫いた人材育成について行政が音頭をとって取り組んでもらいたい。文化の香りの有無は市の品位に関わると思う。

(委員) 市が施設を用意して月に1～2回練習できる環境ができると良い。

(生涯学習課) 南総たてやま発見伝については、市HPで一部紹介しているので、大金をかけずにやれることがあれば拡充していきたい。博物館では、館山市の文化財を紹介する館山フィールドミュージアムというホームページを運営管理している。

委員が仰る人材育成については今後検討していきたい。

（委員）学校再編が現在進行しており，全体としては少子化，公民館も再編と，難しい時期に来ている。子どもの数が減り，通う学校が変わっても，学校生活を経て社会へ羽ばたいていけるよう，学校統合を契機としてより良い環境・状況に持っていけるようお願いしたい。

（委員）創志学園の取組によって館山市に新しい学校ができるのか。

（教育総務課）学生が館山に来て短期合宿などを行うことを想定している。地元生徒との交流や教育ノウハウの共有など，地元館山市のためになるよう取り組んでいきたい。

以 上